

寄せられた意見の概要と対応について

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応	
検討プロセスに関する意見	コミュニケーション活動に関する意見	情報提供に関する意見	13	鉄軌道ニュースやパネルが細かい、内容・言葉が難しい、わかりにくいとする意見	<p>ニュースレターについては表現を簡素化し、文字数の削減に努めたほか、目を引きやすくなるような見出しをつけるなど、県民に手にとってもらえるような工夫を行いました。</p> <p>また、パネルについても、トップページにいろいろな鉄軌道の写真を掲載し、鉄軌道に馴染みが薄い県民に興味を抱いてもらえるような工夫を行うとともに、文字数の削減、イラストによる表現等わかりやすい説明に努めました。</p> <p>しかしながら、子供からお年寄りまで誰もが理解しやすいようなかみ砕いた表現で説明してほしい等のご指摘もあることから、今後も引き続き、可能な限りわかりやすい言葉やイラストで表現する等更なる工夫を行い、わかりやすい情報提供に努めてまいります。</p>	
			6	子供からお年寄りまで誰もが理解しやすいよう、かみ砕いた表現等を活用するなどわかりやすく情報提供してほしいとする意見		
			3	模型や映像などでもっとイメージができるようにしてほしいとする意見		
			22	事業費や構造等、今後の検討内容(ステップ4以降)について知りたいとする意見		
			9	提供した情報の根拠資料等の情報提供を求める意見		
			4	ニュースレターやパネルにより理解が進んだとする意見		
			28	あらゆるメディアの活用や、説明会の開催、ステッカーの配布など、もっと周知を図ってほしい、周知に力を注いでほしいとする意見		<p>情報提供にあたっては、多くの県民に関心を持って頂けるよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の広報テレビ番組による周知 ・検討内容をとりまとめたニュースレターの全戸配布 ・市町村役場や商業施設、大学、病院等55箇所でのパネル展示の開催 ・ホームページでの情報掲載 <p>による情報提供を行うとともに、オープンハウス(県職員を配置したパネル展示)や県民会議、市町村会議、関係機関等意見交換会を開催するなど、対話を通じた幅広い情報提供に努めたところがあります。</p> <p>なお、パネル展示については、本島周辺の離島地域への周知拡大を図るため、離島航路の終発着であるとまりん(泊ふ頭旅客ターミナル)及び運天港を追加して実施しました。</p> <p>また、マスコミにパネル展示や県民会議の日時や場所等について積極的に情報提供し、記事として取り上げてもらえるよう周知に努めたところであり、今後も様々な媒体を活用した周知・情報提供に努めてまいります。</p>
			1	(関係機関等意見交換会意見)		
			1	鉄軌道導入について具体的な状況がわからないと話題になりづらい。話題になりやすいようメディアを活用した周知を図ってはどうか。		
			1	県のトップページへのリンク等、HPでの情報提供の工夫を求める意見		
		1	ニュースレターのカラープリントは費用が大きいのので、白黒で良いという意見			
		6	初めて取り組みを知ったが、ニュースレターやパネル展示等で県民に周知を図るこのような取組は良い、知ることができてよかったとする意見			
		4	その他(情報提供等の取組に対する意見)			
		4	アンケートに関する意見	<p>今回実施したアンケートは、提示した4つのルートを選定ではなく、その他のルート案とその考え方を求めたことから、選択式ではなく記載していただく方式をお願いしたところがあります。</p> <p>また、アンケートについては、幅広い年齢層から回答して頂けるよう、郵送、QRコード(インターネット)、FAX、Eメールによる回答手段を設けたところではありますが、ご意見を踏まえ、回答手段の簡便化について検討してまいります。</p>		
		4	アンケートの問いかけがわかりづらい、回答も選択式にするなどの工夫が必要とする意見			
4	アンケート回答用のQRコードの掲載や封筒の添付など手軽に回答できるような工夫が必要とする意見					
1	アンケート期間の拡大を求める意見					
	その他意見	5	その他(アンケートに関するその他意見)			
	その他意見	6	コミュニケーションに関するその他意見			
	検討の進め方に関する意見	3	利権とは切り離すなど、公正に取り組みを進めてほしいとする意見	<p>県では、沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づき、県土の均衡ある発展、県民及び観光客の移動利便性の向上、中南部都市圏の交通渋滞の緩和、世界水準の観光リゾート地の形成、駐留軍用地跡地の活性化などを図る観点から、鉄軌道導入に向け、県の計画案づくりを進めているところです。</p> <p>計画案策定にあたっては、ステップ1で策定した「計画検討プロセスと体制のあり方」に基づき、県民の理解と協力、公正性の確保、参加型プロセスの積極的導入及び予断なき検討の4つの基本姿勢を掲げ取り組んでいるところがあります。</p> <p>このような大きなプロジェクトの合意形成を図るには、県民の皆さまと情報共有を図りながら検討を行っていくことが重要と考えております。</p> <p>そのため、今後も引き続き、ニュースレターの全戸配布やパネル展示を実施する他、オープンハウスや県民会議、市町村会議、関係機関等意見交換会の開催による対話を通じた県民との情報共有も図りながら検討を進めてまいります。</p>		
		5	福祉、医療、教育等他施策を優先すべきとする意見			
		7	目的を明確にして検討を進めてほしいとする意見			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
検討プロセスに関する意見	検討の進め方に関する意見		10	外国を含め先進事例、既存事例等を参考にしながら検討を進めてほしいとする意見	<p>鉄軌道の計画案策定にあたっては、社会面、経済面、環境面等の様々な観点から総合的に検討を行う必要があります。</p> <p>このため、計画案づくりは、交通政策、観光振興、経済振興等総合的観点から検討を行う計画検討委員会と、交通工学、施工性、環境等技術的観点から検討を行う技術検討委員会を設置し検討を進めています。</p> <p>また、行政手続き、合意形成の専門家で構成するプロセス運営委員会を設置し、計画検討がステップ1で策定した「計画検討プロセスと体制のあり方」に基づき、適切に実施されているか、評価、助言を得ながら段階的に検討を進めております。</p> <p>計画案づくりにあたっては、各ステップにおいて、県民の皆さまと情報共有を図りながら検討を進めることが合意形成を図る上で重要と考えております。</p> <p>今後も、引き続きニュースレターの全戸配布やパネル展示を実施する他、オープンハウスや県民会議、市町村会議、関係機関等意見交換会の開催による対話を通じた県民との情報共有も図りながら検討を進めてまいります。</p>
			11	有識者、専門家、関係機関、多くの県民の声をしっかり聴いて進めてほしいとする意見	
			7	県民意見も重要だけど、専門家の意見を重視すべきとする意見	
			13	数十年先の長期を見据えた検討、じっくりとした検討を行ってほしいとする意見	
			14	取組が遅い、検討のスピードをあげてほしいとする意見	
			9	検討を始めるのが遅かったのではないかと、もっと早くから取り組むべきだったとする意見	
			4	できる協力はやっていきたい、取組に協力したいとする意見	
			6	計画実現に向け、県民とコンセンサスを得ながら、県民一体となった取り組みが必要とする意見	
			3	取組を強力に進めた方がよいとする意見	
			3	住民投票等により県民合意を図り、県民と一丸になって早期導入に向け取り組むことを求める意見	
			1	県民参画が実感できるよう、PIで寄せられた県民意見の概要や反映結果等について知りたいとする意見	
7	検討の進め方に関するその他意見	<p>鉄軌道の計画案策定にあたっては、社会面、経済面、環境面等の様々な観点から総合的に検討を行う必要があります。</p> <p>このため、計画案づくりは、交通政策、観光振興、経済振興等総合的観点から検討を行う計画検討委員会と、交通工学、施工性、環境等技術的観点から検討を行う技術検討委員会を設置し検討を進めています。</p> <p>また、行政手続き、合意形成の専門家で構成するプロセス運営委員会を設置し、計画検討がステップ1で策定した「計画検討プロセスと体制のあり方」に基づき、適切に実施されているか、評価、助言を得ながら段階的に検討を進めております。</p> <p>計画案づくりにあたっては、各ステップにおいて、県民の皆さまと情報共有を図りながら検討を進めることが合意形成を図る上で重要と考えております。</p> <p>今後も、引き続きニュースレターの全戸配布やパネル展示を実施する他、オープンハウスや県民会議、市町村会議、関係機関等意見交換会の開催による対話を通じた県民との情報共有も図りながら検討を進めてまいります。</p>			
	その他意見	3	その他(検討プロセスに関するその他意見)	<p>鉄軌道の計画案策定にあたっては、社会面、経済面、環境面等の様々な観点から総合的に検討を行う必要があります。</p> <p>このため、計画案づくりは、交通政策、観光振興、経済振興等総合的観点から検討を行う計画検討委員会と、交通工学、施工性、環境等技術的観点から検討を行う技術検討委員会を設置し検討を進めています。</p> <p>また、行政手続き、合意形成の専門家で構成するプロセス運営委員会を設置し、計画検討がステップ1で策定した「計画検討プロセスと体制のあり方」に基づき、適切に実施されているか、評価、助言を得ながら段階的に検討を進めております。</p> <p>計画案づくりにあたっては、各ステップにおいて、県民の皆さまと情報共有を図りながら検討を進めることが合意形成を図る上で重要と考えております。</p> <p>今後も、引き続きニュースレターの全戸配布やパネル展示を実施する他、オープンハウスや県民会議、市町村会議、関係機関等意見交換会の開催による対話を通じた県民との情報共有も図りながら検討を進めてまいります。</p>	
対策案に求める・期待する効果に関する意見	見 沖縄振興・広域的な地域圏の形成等に関する意見	経済等振興	26	沖縄経済の活性化、沖縄の発展が期待できるとする意見	<p>沖縄21世紀ビジョン基本計画を着実に実施していくための総合的な交通体系のビジョンを示した「沖縄県総合交通体系基本計画」においては、県土全体において高水準な都市機能を提供するため、様々な業種が集積し高度かつ多様なサービスを県民に提供することが可能な那覇市と各圏域の中心都市である名護、宮古、石垣との移動時間を1時間とする圏域構造の構築を図ることとしております。これら圏域間の連携を強化することにより、広域的な課題解決を図りながら、それぞれの地域資源の広域的活用によって地域の個性や特長を伸ばすことにより、県全体を牽引する力強い地域圏を形成し、県の総合的な発展を図ることとしております。</p> <p>沖縄21世紀ビジョンで示された将来の姿の実現等にあたっては、県土の均衡ある発展、県民及び観光客の移動利便性の向上、中南部都市圏の交通渋滞緩和、世界水準の観光リゾート地の形成、駐留軍用地跡地の活性化、低炭素社会の実現の観点から、公共交通への利用転換に向けた取組と併せて、那覇一名護を1時間で結ぶ骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築が必要と考えております。</p> <p>本計画検討においては、沖縄の将来の姿の実現等に向けて公共交通に求められる役割を踏まえ、引き続き、県民と情報共有を図りながら骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークについて検討を進めてまいります。</p> <p>交通利便性を向上させることで人や企業を呼び込んでいくためには、魅力あるまちづくりを行っていただくことが重要であり、今後の検討の中では、他事例等を参考に沿線市町村に求められるまちづくりについて整理し、市町村と連携して魅力あるまちづくりについて検討・情報共有を図ってまいります。</p>
			5	外国を含め観光客が増加するなど、観光振興が期待できるとする意見	
			1	その他(経済等振興)	
		広域的な地域圏の形成・圏域間連携強化・地域の活性化等	13	人口の分散化等による地域活性化、生活圏の拡大、過疎化の解消、県土の均衡ある発展が期待できるとする意見	
			11	通勤圏等の拡大による北部の過疎化対策、北部への交流人口の増、北部の活性化が期待できるとする意見	
			3	北部の公共交通の充実を求める意見	
			2	北部の活性化に資するとは思えないとする意見	
			1	南部の公共交通の充実を求める意見	
			1	東海岸の活性化が期待できるとする意見	
			1	中部の活性化が期待できるとする意見	
			2	中部の公共交通の充実を求める意見	
7	その他(地域の活性化・振興等)				

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応	
対策案に求める・期待する効果に関する意見	意見 沖縄振興・広域的地域圏の形成等に関する	交流拡大	13	中南部と北部間の交流が容易にできるようになる、北部等遠くに住んでいる親戚や友人等にも会いやすくなる、人的交流が促進されるとする意見	<p>沖縄県では、沖縄21世紀ビジョンで描く沖縄の将来の姿の実現に向け、高齢者や障害者をはじめ誰もが安全かつ安心して暮らせるよう、人に優しいまちづくりを推進しております。また、本格的な高齢社会への対応、学校や職業の選択肢拡大、外国人を含む観光客の増加等への対応の観点から、誰もが過度に車に頼らなくても移動できる公共交通ネットワークの構築が求められています。</p> <p>このため、本県では、公共交通の利用環境改善に向け、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者を含むすべての利用者の乗降性に優れたノンステップバス ・バスの複雑な系統を色でわかりやすく整理する系統別カラーリング ・乗降時間の短縮と運賃精算の手間を軽減するIC乗車券の導入や、 ・バスの定時速達性の向上を図るバスレーン区間の延長などに取り組む他、 <p>人に優しい交通手段を確保するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄都市モノレールの沖縄自動車道(西原入口)までの延長整備 ・那覇一名護を1時間で結ぶ鉄軌道の導入及び鉄軌道とフィーダー交通(支線)が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築に向けた取組等を推進しております。 <p>これら取組により、移動手段の選択肢拡大が図られ、高齢者や学生、観光客等の多様なニーズに対応できるものと考えており、交流拡大、通勤通学圏の拡大等が期待できるものと考えております。</p>	
		通勤・通学	11	職場・学校との移動が楽になっている、無理なく通えるようになるとする意見		
			18	通勤、通学範囲が広がる。職業や学校の選択肢が広がり、居住地を問わず学校等を選択できるようになるとする意見		
	県民生活に関する意見			10	車社会から脱却し、歩くことによる健康的な生活、歩いて暮らせる環境、歩く機会が増加するとする意見	<p>沖縄県は、極めて高い自動車依存型社会が形成され、交通渋滞が日常化しており、交通渋滞の緩和には、道路網の整備に加え、自家用車利用から公共交通への利用転換、過度に自動車に頼らないライフスタイルの促進が重要であります。</p> <p>そのため、過度な自家用車利用からの転換に向け、公共交通利用促進に関する意識啓発活動の実施や、小・中・高生に対して、自動車に過度に依存した生活習慣が根付かないようにするための啓発活動として、「安全・安心」、「CO2削減」、「健康増進」、「渋滞緩和」の観点から、公共交通の必要性について整理されたパンフレットの児童・生徒への配布や、小学校での出前事業の実施等に取り組んでおります。</p> <p>さらに、既存の公共交通の利用環境改善や歩きたくなるまちづくりなどの取組と併せて、骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築が重要と考えております。</p> <p>本計画検討においては、沖縄の現状課題解決及び将来の姿の実現に向けて求められる公共交通の役割を踏まえ、引き続き、県民と情報共有を図りながら、那覇一名護を速達性、定時性を備えた骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークについて検討を進めてまいります。</p>
		3	定時性の向上等により、時間の有効活用が可能となる、うちなータイムも改善されるとする意見			
	移動利便性向上に関する意見	移動利便性の向上に関する意見		96	高齢社会の進展を踏まえ、高齢者等交通弱者、自動車を持っていない人でも気軽に外出できるようになる、行動範囲が広がり、行きたいところに行けるようになるとする意見	<p>将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等交通弱者、自動車を持っていない人でも気軽に外出できるようにしてほしいとする意見 ・免許を持っていない観光客なども誰もが観光を楽しむことができるようにしてほしいとする意見 ・定時性の確保、計画的、時間が読めるようにしてほしいとする意見 ・スピーディーで速達性を確保、時間の短縮を求める意見 <p>が寄せられた一方で、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速さにこだわらず、ゆっくり移動することを求める意見 <p>も寄せられました。</p> <p>県では、本格的な高齢化社会、外国人を含む観光客の増加等に対応するためには、誰もが過度に車に頼らなくても移動できる公共交通ネットワークの構築、移動の選択肢拡大を図っていくことが重要と考えております。</p> <p>既存のバス交通では那覇空港から名護までは90分(高速バス)、160分(一般道路利用)としたサービスが提供がなされておりますが、今後、高齢者や観光客の多様なニーズに対応するためには、定時性・速達性の高いサービスも提供していく必要があると考えております。</p> <p>対策案については、県民から寄せられたご意見も踏まえ、「圏域間の連携強化」、「移動利便性の向上」、「交通の円滑化」、「交通渋滞の緩和」等、将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割を踏まえ検討を進めているところであります。</p>
				65	移動が便利になる、スムーズな移動、交通の円滑化を期待する意見	
				20	交通手段が増える、移動の選択肢の拡大を期待する意見	
				31	観光客がストレス無く、楽に移動できるようになる、免許を持っていない観光客など誰もが観光を楽しむことができる、移動範囲が広がり北部等へ観光がしやすくなるとする意見	
				1	移動コストの軽減を期待する意見	
			2	空港へのアクセスが向上し、気軽に県外や外国に行けるようになるとする意見		
			3	駅近くの方や都市部に住む一部の方だけ恩恵を受けることになるとする意見		
		4	駅近くの方や都市部に住む一部の方だけでなく、広く県民が恩恵を受けるようにして欲しいとする意見			
		公共交通のサービス向上に関する意見	22	定時性の確保、計画的、時間が読めるようになるとする意見		
		12	スピーディーで速達性が確保される、時間の短縮が期待できるとする意見			
		12	速さにこだわらず、ゆっくり移動する方が良いとする意見			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応		
対策案に求める・期待する効果に関する意見	車依存型社会から脱却に関する意見	車依存型社会からの脱却に関する意見	26	車社会からの脱却、車を利用せずに移動ができるようになる、自動車利用の減少が期待できるとする意見	<p>沖縄県は、極めて高い自動車依存型社会が形成され、交通渋滞が日常化しており、交通渋滞の緩和には、道路網の整備に加え、自家用車利用から公共交通への利用転換、過度に自動車に頼らないライフスタイルの促進が重要であります。</p> <p>そのため、過度な自家用車利用からの転換に向け、公共交通利用促進に関する意識啓発活動の実施や、小・中・高生に対して、自動車に過度に依存した生活習慣が根付かないようにするための啓発活動として、「安全・安心」、「CO2削減」、「健康増進」、「渋滞緩和」の観点から、公共交通の必要性について整理されたパンフレットの児童・生徒への配布や、小学校での出前事業の実施等に取り組んでおります。</p> <p>さらに、既存の公共交通の利用環境改善や歩きたくなるまちづくりなどの取組と併せて、骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築が重要と考えております。</p> <p>本計画検討においては、沖縄の現状課題解決及び将来の姿の実現に向けて求められる公共交通の役割を踏まえ、引き続き、県民と情報共有を図りながら、那覇一名護を1時間で結ぶ骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークについて検討を進めてまいります。</p>		
			19	車社会であるため、結局は自動車を利用するのではないか、現実的には車依存型社会が続く、鉄軌道を整備しても利用しないのではないかとする意見			
			1	自家用車に係る経済的負担が軽くなる、自動車の保有台数を減らすことができるとする意見			
			3	その他(車依存型社会からの脱却)			
		自動車利用の減少に伴う渋滞緩和・低炭素社会の実現に関する意見	97	交通渋滞が緩和され、交通量が少なくスムーズな移動が期待できるとする意見			
			23	車が減り、排気ガス等の削減が期待できる、環境にも良いとする意見			
			2	渋滞緩和による経済的ロスの減少が期待できるとする意見			
		交通事故に関する意見	交通事故に関する意見	41		公共交通の利用により車を運転せずにすむので飲酒運転や交通事故が減少する、気軽に飲みに行けるようになるとする意見	<p>本県においては、自動車への依存度が高く、慢性的な渋滞が課題となっており、渋滞による経済的損失、公共交通の利便性の問題など様々な問題を抱えていることから、過度に自動車に頼らないライフスタイルの促進、コンパクトな都市構造の実現による「歩きたくなるまちづくり」、少子高齢化・人口減少社会への対応として、人に優しい交通手段の確保、利用環境整備等に取り組んでいるところであります。</p> <p>将来の姿の実現にあたっては、移動の選択肢拡大を図り、県民等の多様なニーズに対応していくことが求められていることと考えており、引き続き、既存の公共交通の利用環境改善に向けた取組と併せて、那覇と名護を1時間で結ぶ骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築について検討を進めてまいります。</p> <p>また、踏切等鉄軌道の安全性については、具体的なルートや構造、システム等について検討を行う計画段階において、ご意見も踏まえつつ検討がなされることとなります。</p>
				3		踏み切り事故や鉄道に関連した事故の発生を不安視する意見	
				1		その他(交通事故)	
	基幹軸の整備に関する意見	基幹軸の整備に関する意見	628	鉄軌道をできるだけ早く整備してほしい、実現を期待する意見	<p>ステップ3の前半で検討した将来の姿の実現及び陸上交通の課題解決の観点から求められる「公共交通の役割」については、圏域間連携の強化、移動利便性の向上、交通の円滑化、交通渋滞の緩和等を期待する・求める意見が寄せられました。</p> <p>そのうち、移動利便性の向上については、定時性、快適性、速達性、ゆっくりとした移動、移動手段の選択肢拡大、公共交通ネットワークの充実が求められました。</p> <p>また、圏域間の連携強化については、那覇と名護を1時間で結ぶ必要は無いとする一部の意見もあったが、北部や南部への往来が活発になる等圏域間の連携が強化されるとする意見や、北部と中南部とのアクセス向上による連携強化を求める意見、那覇と名護を1時間又はそれより早く結んでほしいとする意見が寄せられる等、公共交通に関し様々なニーズへの対応が求められました。</p> <p>将来の姿の実現にあたっては、移動の選択肢拡大を図り、県民等の様々なニーズに対応していくことが求められております。</p> <p>そのため、沖縄県としては、現在進めているバス停の整備やノンステップバスの導入等公共交通の利用環境改善に向けた取組等と併せて、那覇と名護を1時間で結ぶ骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図っていくことが必要と考えております。</p> <p>県としましては、県民の皆さまと確認した「将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割」を踏まえ整理した「対策案検討の視点」に基づき、骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築について検討を進めてまいります。</p>		
			8	基礎インフラとして鉄軌道は必要とする意見			
			13	沖縄だけ鉄軌道が無い、導入が遅いのはおかしい、本土と同じように鉄道を導入して欲しいとする意見			
			52	人口が減少するのに鉄軌道は必要か、必要性を感じない、事業規模等の観点から税金の無駄遣いとする意見			
			7	道路整備を充実することで足りる、道路の整備を優先すべきとする意見			
			22	鉄軌道は実現可能性がないのではないかと、実現できるのかとする意見			
			9	自動車での移動で十分ではないかとする意見			
			10	鉄道ができればもっと狭くなる、狭いので鉄道は必要か、必要ないとする意見			
			17	その他(基幹軸整備)			
			その他意見	まちづくり		駅周辺等まちづくり	1
5	その他(駅周辺等まちづくり)						
その他	駐留軍用地跡地の活用	3		駐留軍用地跡地を利活用したまちづくりを期待する意見			
		6		その他(対策案に求める・期待する効果その他)			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
骨格軸のルート検討に関する意見	骨格軸のルート検討の視点に関する意見	公共交通軸の構築に関する意見	22	那覇一名護を1時間で結んでほしい、名護まで整備してほしいとする意見	<p>県民の皆さまから寄せられた「ルート案等検討の視点に関する意見」は、「公共交通の役割を踏まえた検討の視点に関する意見」と、「評価項目で設定している視点に関する意見」に分類・整理しました。</p> <p>「公共交通の役割を踏まえた検討の視点に関する意見」では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通軸の構築 ・多くの人が利便性を享受できるように、多くの人が利用できる地域を経由 ・自動車交通が集中している地域を経由 ・その他留意事項として、採算性及び極端な大回りとならないよう考慮することを求める意見が寄せられました。 <p>そのうち、公共交通軸の構築については、名護までは要らないとする意見や那覇と名護を1時間で結ぶ必要は無いとする一部の意見もありましたが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇と名護を1時間で結んでほしい、名護まで整備してほしいとする意見 ・那覇と名護を1時間より早く結んでほしいとする意見 ・今まで行ったことがない遠い地域に行くことができるようなルートにしてほしいとする意見 <p>などが寄せられました。</p> <p>また、多くの人が利用できる地域を経由する視点については、観光客はレンタカーを利用するため鉄軌道は利用しないではないかという一部の意見もありましたが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民にとって利便性が高い、人口が多く利用者多い、生活に便利なルートにしてほしい ・観光客にとって導線が良い、便利、車を使わずに移動できる、多くの観光地等を経由できるルートにしてほしいとする意見 <p>などが寄せられました。</p> <p>また、「評価項目で設定している視点に関する意見」では、早期整備(事業期間)や低コスト(事業費)、津波や台風等への対応(災害)、環境配慮等の視点を求める意見が寄せられました。</p> <p>本検討では、ルート案については、「対策案検討にあたっての基本的考え方」(ニューズレター第4号4~5頁)に基づき、「将来の姿の実現等に向けもめられる公共交通の役割を踏まえ検討・設定を行い、事業費等経済面や環境面等の影響については、ステップ4においてルート毎に比較評価することとしています。</p> <p>そのため、県民の皆さまから寄せられた早期整備や環境影響等、評価項目として設定している視点については、ステップ4の比較評価において確認してまいります。</p> <p>以上より、県民の皆さまから寄せられた意見からはルート等検討の視点に追加する新たな視点への意見が見受けられなかったことから、骨格軸のルート案については、将来の姿の実現や陸上交通の課題解決の観点から整理した「公共交通の役割」を踏まえ設定した「ルート等検討の視点」に基づき検討を行っていくこととし、検討結果については、県民の皆さまと情報共有を図ってまいります。</p>
			11	那覇一名護を1時間より早く結んでほしいとする意見	
			5	那覇一名護を1時間で結ぶ必要は無いのではないかとする意見	
			10	那覇と名護を結んでほしいとする意見	
			56	早くつくルートがほしい、時間短縮可能なルートにしてほしいとする意見	
			26	今まで行ったことがない遠い地域に行くことができるようなルートにしてほしいとする意見	
				(関係機関等意見交換会意見)	
			1	生活者としては、北部へ行くのは遠く感じるが、鉄軌道ができることによって改善されると思われる	
			1	観光面や県民利用の面でも、北部への移動しやすさの改善、渋滞解消といったメリットが大きいと考える	
			20	名護までは要らないとする意見	
			多くの人が利便性を享受できるように、多くの人が利用できる地域を経由することに関する意見		
		432	自分自身にとって良く行く場所・行く機会の多い場所を通るルートにしてほしいとする意見		
		880	県民にとって利便性が高い、人口が多く利用者が多い、生活に便利なルートにしてほしいとする意見		
		70	多くの市町村を経由するルートにしてほしいとする意見		
		4	雇用に資するルートにしてほしいとする意見		
		1033	自分が住んでいる地域等特定の地域、学校や商業施設等特定の施設を経由してほしいとする意見		
		146	国道58号や高速道路等がある地域は、既に便利だからルート検討から外すべきとする意見、又は国道58号等が無く不便だからルート検討にあたり考慮すべきとする意見		
		130	バス路線が十分な地域は既に便利だからルート検討から外すべき、又はバス路線が不十分な地域は、ルート検討にあたり考慮すべきとする意見		
		174	交通の充実による交流拡大、利便性向上等、南北、西高東低等、地域格差が是正できるようなルートを求める意見、各地域まんべんなく通して全地域便利にしてほしいとする意見		
		28	交通の充実により東西横断が可能、東西の地域連携が可能、横断に便利なルートにしてほしいとする意見		
557	観光客にとって導線が良い、便利、車を使わずに移動できる、多くの観光地等を経由できるルートにしてほしいとする意見				
9	観光客はレンタカーを利用するため鉄軌道は利用しないのではないかとする意見				
347	県民や観光客、いずれにも便利、多くの人が利用できるルートにしてほしいとする意見				
73	観光客より県民を重視するルートにすべきとする意見				
	(県民会議共通意見)				
1	ルートの考え方として、人口や観光等をベースに検討されていることは適切である				
1	ルートは、県民、観光客を含め、需要の高い主要施設又は人の集まると予想される箇所など需要を考慮すべき				

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応		
骨格軸のルート検討に関する意見	骨格軸のルート検討の視点に関する意見	公共交通の役割を踏まえた検討の視点に関する意見	453	交通渋滞の緩和が図られる、交通量が多いカ所を経由するルートにしてほしいとする意見	前頁と同じ		
			11	跡地を活用することによるまちづくりを求める意見			
			27	西海岸地域の活性化に資するルートを求める意見			
			325	東海岸地域の活性化に資するルートを求める意見			
			49	北部の活性化に資するルートを求める意見			
			24	中部の活性化に資するルートを求める意見			
			41	南部の活性化に資するルートを求める意見			
			102	沖縄振興、まち・地域の活性化に資するルートにしてほしいとする意見			
			85	その他留意事項に関する意見		85	需要が多く確保できるルート、採算性の確保が可能なルート、ランニングコストが少ないルートにしてほしいとする意見
						87	延長が短いルートが良い、短くしてほしいとする意見
	2	延長が長くも短くもないから良いとする意見					
	236	複数視点を求める意見	提示した複数の視点(県民、観光客、渋滞緩和、まちづくり)を踏まえたルートにしてほしい				
	評価項目で設定している視点に関する意見	事業性に関する意見	75	早期整備が可能なルートにしてほしいとする意見			
			35	低コストが期待できるルートにしてほしいとする意見			
			(県民会議共通意見)				
			1	早期完成と整備費用が少なくなるようなルートの設定			
			14	津波や台風、地震等への影響を踏まえたルートにしてほしいとする意見			
		環境に関する意見	12	自然を残してほしいとする意見			
			212	車窓からの景色が良いルートにしてほしいとする意見			
			(関係機関等意見交換会意見)				
1			利便性や定時性という観点は非常に大事だが、道中風景を楽しむことができれば、それが観光資源となる				
3			基地負担の多い地域を経由してほしいとする意見				
その他意見	22	その他意見					

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
骨格軸のルート検討に関する意見	ルートに関する意見	提示した案に関する意見	5002	提示したA～D案の特定の案、西海岸、東海岸を経由するルートを求める意見	<p>ルート等の検討にあたっては、県民の皆さまの意見を参考に慎重かつ丁寧に進める必要があったことから、前半と後半に分けて段階的に検討を行いました。</p> <p>・前半では、沖縄本島の陸上交通の現状・課題解決及び将来の姿の実現の観点から求められる「公共交通の役割・取組」について</p> <p>・後半では、確認された「公共交通の役割・取組」に基づき、「公共交通の役割を踏まえた対策案の検討の視点」を整理の上、具体の対策案として、骨格軸のルート案、フィーダー交通、想定される公共交通システムについて</p> <p>県民との情報共有(前半:平成28年1月25日～2月24日、後半:平成28年5月16日～6月15日)を図りながら検討を行いました。</p> <p>県民の皆さまからは、ルート案について「ルート等検討の視点」に基づき検討を行ったA～D案のいずれかが良いとする意見又は否定する意見が寄せられた他、新たに、那覇一名護間での東西横断や北部や中部の概ねの地域を経由するルートを求める意見や名護以北や南部への延伸に関する意見が寄せられました。</p> <p>県民から寄せられた新たなルートである、那覇一名護間での東西横断や名護以北や南部への延伸等に関する意見については、計画検討委員会において、「ルート等検討の視点」に基づき検討を行った結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部地域における新たな東西横断ルートとしてB案の派生案(B'案) ・中部地域における新たな東西横断ルートとしてC案とD案の派生案(C'案及びD'案) <p>計3のルートを追加し、A～D案の4ルートを含め、計7案をステップ4で比較評価するための対策案として設定しました。</p> <p>また、名護以北や南部への延伸、北部や中部の概ねの地域を経由する等骨格軸へのルートの付加については、ステップ4において、需要予測結果を踏まえ、今後、ルート案の対象とすべきか確認していくこととしております。</p>
			33	提示したA～D案の特定の案、国道58号や高速道路等を経由するルートを否定する意見	
		那覇一名護間における新たなルート提案に関する意見	100	北部の西海岸～東海岸への横断(連携強化)を求める意見	
			15	北部の概ねの地域を経由するルートを求める意見	
			535	中部の西海岸～東海岸への横断(連携強化)を求める意見	
			745	中部東海岸を含めた中部又は中南部地域の概ねの地域を経由するルートを求める意見	
			200	本島中央ルートを求める意見	
			403	那覇一名護間において概ねの地域を経由、又は一周するルート、複数ルートを求める意見	
		名護以北や南部への延伸に関する意見	407	全島環状路線を求める、本島の概ねの地域を経由するルートを求める意見	
			194	南部～名護以北までの本島縦断路線を求める意見	
		1060	本部半島や国頭等、名護以北への延伸を求める意見		
		1237	糸満、八重瀬、与那原方面等、南部への延伸を求める意見		
			(市町村会議意見)		
		1	豊見城市と糸満市合わせて人口約12万人いるので骨格軸として検討していただきたい		
		124	北部又は南部、北部及び南部の概ねの地域を経由するルートを求める意見		
	その他ルートを求める意見	12	その他ルートを求める意見		
	交通結節点との接続を求める意見	8	浦西でモノレールとの接続を求める意見	<p>県民の皆さまから、空港やモノレール、高速道路など交通結節点との接続を求める意見も寄せられました。</p> <p>交通結節点との接続については、計画段階以降において、具体的な駅位置等を踏まえて検討を行っていくこととなりますが、空港との接続については、モノレールへの影響等様々な課題が想定されることから、ステップ4において、接続した場合の影響についてもお示していくこととしております。</p>	
		63	空港との接続を求める意見		
			(関係機関等意見交換会意見)		
		1	観光面からみると、那覇空港と直結することが非常に理想的		
	3	高速の入り口との接続を求める意見			
	9	その他(交通結節)			
その他意見	131	その他(ルート)			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
フィーダー交通の検討に関する意見	検討の視点に関する意見		110	バスプールや駐車場等の整備も含め骨格軸とバス、モノレール等が連携し、乗り継ぎが便利でスムーズな移動ができるようにすべきとする意見	<p>フィーダー交通について、県民の皆さまから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格軸と既存のバスやモノレール等のフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築を求める意見 ・各地域におけるフィーダー交通の充実を求める意見 <p>が寄せられたことから、「将来の姿の実現等に向け求められる公共交通の役割」から整理した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格軸と地域を効率的に結ぶ ・既存の公共交通ネットワーク及び利用状況、まちづくりを考慮 <p>とする検討の視点については、一定の情報共有が図られたものと考えております。</p> <p>さらに、県民の皆さまからは、バス路線見直しによる鉄軌道との効率的なネットワーク構築を求める意見も寄せられたことから、これを踏まえ、他県の取組事例等も参考に、利便性の高いフィーダー交通ネットワーク構築に向けた考え方について整理していくものとしております。</p>
			1	(県民会議共通意見) ルート検討に当たっては、既存の交通システムも十分に生かし、乗換えがスムーズになることも考慮する必要がある。	
			1	骨格軸だけでなく、フィーダー交通で県内をくまなく移動可能とすることが重要	
			1	骨格軸では補えなかった主要施設等を結ぶフィーダー交通の整備により観光客と県民の生活に役立てる	
			1	バスやモノレールなどの既存の交通システムとの連携を十分に考えないと、採算性からみても現実的ではなくなる。	
			1	(関係機関等意見交換会意見) 観光客には特定の地域に集中するのではなくて地域の隅々に行ってもらいたいので、鉄軌道とバスやタクシー、レンタカー等が連携するフィーダー交通も重要	
			14	都心部だけでなく郊外部の発展等に資するネットワークの構築を求める意見	
	53	南部、北部、東海岸等、各地域におけるフィーダー交通の充実を求める意見			
	63	鉄軌道が通らない地域をバスで補完してほしい、バス路線見直しによる鉄軌道との効率的なネットワーク構築を求める意見			
	20	その他			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応	
想定されるシステムに関する意見	骨格軸のシステムに関する意見	専用軌道に関する意見	専用軌道に関する意見	9	専用軌道が良いとする意見	骨格軸のシステムについては、速達性やコスト、安全面等の様々な観点から、鉄道やモノレール、LRT(専用軌道)、HSST、LRT(併用軌道)、リニアモーターカーなどの導入を求める意見が寄せられました。 骨格軸については、「公共交通の役割」を踏まえた場合、時速100km以上のスピードが求められることから、システムとしては、道路交通法等の規制を受けない専用軌道を有する小型鉄道やモノレール等新交通システム、専用軌道を有するLRTが想定されたところです。 具体的なシステムについては、事業化に向け具体的な検討を行う計画段階において、県民の皆さまから寄せられた意見を踏まえ、コストや安全面等様々な観点から検討が行われることとなります。
				11	速達性、定時性等の観点から専用軌道が良いとする意見	
			鉄道に関する意見	37	小型・普通鉄道、地下鉄が良いとする意見	
				8	コストの面から小型鉄道、速達性、自動車交通への影響等の観点から鉄道にしてほしいとする意見	
				1	その他	
			新交通システムに関する意見	8	モノレールやAGTなど新交通システムが良いとする意見	
			モノレールに関する意見	96	モノレールにしてほしい、モノレールの延伸、充実を求める意見	
				13	既存システムであること、運営面、安全面等の観点からモノレールが良いとする意見	
				4	コスト等の面からモノレールは好ましくないとする意見	
				10	その他	
			HSSTに関する意見	6	リニモが良いとする意見(理由無し)	
				6	静かで揺れが少ない、速達性が高い等の理由からリニモが良いとする意見	
			LRT(専用軌道)に関する意見	2	LRT(専用軌道)が良いとする意見(理由無し)とする意見	
		7		速達性、安全面、駅数が多いなど利便性等の観点からLRT(専用軌道)が良いとする意見		
		リニア・新幹線等	9	リニアモーターカーが良い、より速いシステムを求める意見		
		電車に関する意見	2	電車が良いとする意見		
		併用軌道に関する意見	LRT/路面電車に関する意見	7	地域内移動として路面電車を導入してほしい	
				51	コスト、乗りやすさ、車窓からの眺め、早期実現等の観点からLRTが良いとする意見	
				47	LRT(路面電車)が良いとする意見(理由無し)	
				5	速さよりもゆったりとした、利便性のある路面電車が良いとする意見	
				4	渋滞するため路面電車は良くないとする意見	
				4	その他	
		合軌専用 道用の 併用 組合 せ	トラムトレイン	3	コスト等の観点から、トラムトレイン(都市内は併用、郊外は専用の路面電車)にしてほしいとする意見	
				1	その他	
		その他意見	その他	1	(県民会議共通意見) 交通システムについては、いろんなニーズや県民生活を踏まえて選択する。一方で、コストの面や県土の将来の発展の姿も想定して検討しなければならない	
				34	その他意見(環境に良い、騒音の無い、台風等天候に左右されないシステムを求める意見等)	

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
意見 想定 される システム に関する	路 線 に 関 する 意 見	具体的システム・路線に関する意見	36	LRT(併用軌道)の導入、特定の地域へのLRT導入を求める意見	フィーダー交通のシステムについては、県民からはモノレールの延伸や特定の地域へのLRT(併用軌道)導入、LRTやBRTが良いとする意見等が寄せられました。 フィーダー交通の具体的なシステムについては、 ・速達性、定時性、乗降のしやすさ ・他の交通機関との連携 ・地域のまちづくり などの視点を総合的に勘案し選定されることが望ましいことから、交通計画の観点のみならず、地域におけるまちづくり等の観点からも検討を行っていく必要があると考えております。
			11	モノレールの活用、特定の地域へのモノレールの導入・延伸を求める意見	
			4	BRTを導入してほしいとする意見	
			3	LRT、BRTが良いとする意見	
			9	その他	
	その他	11	その他		
対策案の検討に関するその他意見	ステップ4以降の検討に関する意見	導入空間に関する意見	57	コストや用地確保等の観点から、国道58号や高速道路等、既設道路を活用した整備を求める意見	導入空間については道路の活用も含め、地下や高架等様々な構造が想定されます。 そのため、ステップ4では、ステップ3で設定した複数のルート案毎に、想定される複数の構造について、幅広く検討を行っていくこととしております。 また、導入空間や構造によって、自動車交通や自然環境・景観等への影響が異なることから、それぞれの導入空間毎に、比較評価項目に基づき影響等について幅広く検討を行ってまいります なお、これら検討結果については、県民の皆さまへ情報提供し、幅広く意見を求めてまいります。
			25	用地確保等の観点から軍用地の活用、軍用地内への整備を求める意見	
			29	地下が良い、台風への対応や用地確保等の観点から地下への導入が良いとする意見	
			4	用地確保の観点から既存道路への地下構造による整備を求める意見	
			11	高架方式を求める意見	
			4	コスト等の観点から国道58号等既存道路への高架構造による整備を求める意見	
			1	交通弱者、景観配慮等の観点から地平が良いとする意見	
				(関係機関等意見交換会意見)	
			1	58号が使えるなら、那覇から嘉手納ロータリーまでは地平構造の検討が考えられるのではないか	
			11	不発弾や景観等の観点から地下構造、トンネル構造はやめた方が良いとする意見	
			9	踏切は避けた方が良い、踏切による渋滞、事故等の観点から踏切のある構造はやめた方が良いとする意見	
			9	用地確保に不安があるとする意見	
13	海上へ導入してほしい、工事による交通渋滞が懸念されるため海上へ導入してほしいとする意見				
23	その他				

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応	
対策案の検討に関するその他意見	ステップ4以降の検討に関する意見	比較評価に関する意見	費用対効果	20	既存交通事業者への影響を懸念する、共存の観点から既存交通事業者との連携を求める意見	<p>評価の視点については、県民の皆さまから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果 ・採算性 ・用地確保 ・整備による自動車交通への影響 ・災害等への対応 ・自然・生活環境への影響 ・景観 <p>等を求める意見が寄せられました。</p> <p>これらご意見は、これまで県民の皆さまと情報共有を図りながら検討を行ってきた評価指標に含まれていると考えており、ステップ4ではステップ3で検討した評価指標及び評価方法に基づき、比較評価を行ってまいります。</p> <p>なお、これら検討内容については、今後、県民の皆さまへ情報提供し、幅広く意見を求めてまいります。</p>
				8	鉄軌道整備に伴う費用対効果の検証を求める意見	
				1	その他	
		採算性	53	採算性を懸念する、検証すべきとする意見		
			5	維持費が安価となるようなものにしてほしい、ランニングコストも考慮すべきとする意見		
				(関係機関等意見交換会意見)		
			1	採算性を確認する上で需要予測が重要である		
		用地確保	2	用地の確保の観点から検討すべきとする意見		
			2	その他		
		整備による自動車交通への影響	3	整備期間中のさらなる交通渋滞が懸念されるとする意見		
		災害等への対応	11	台風、地震、津波等自然災害による影響を懸念する、災害等を考慮した検討を求める意見		
		環境	47	豊かな自然を壊すのは反対、残すような取組を行ってほしいとする意見		
			22	自然に配慮した、自然と調和した整備を行ってほしいとする意見		
			10	騒音影響を懸念する、騒音軽減を求める意見		
			2	地球環境に対する貢献度、CO2削減の程度についても検討すべきとする意見		
			1	その他		
		景観	9	自然の景観を損なわないようにしてほしい、自然の景観を活かしてほしいとする意見		
			1	その他		
		その他	4	その他		

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
対策案の検討に関するその他意見	計画段階以降の検討に関する意見	駅位置・駅数に関する意見	25	特定の施設、人の多いところ(学校や病院等、人が集まる所)に駅が必要とする意見	本計画検討は、概略的な検討を行う構想段階に該当します。計画案策定後は、事業化に向けた具体的な検討を行う計画段階へ移行し、その後、概略設計を経て、環境アセスや鉄道事業法等に基づく諸手続きを行っていくこととなります。具体的な駅位置や着工時期、車両、運行計画、財源、整備主体等については、計画段階の検討及び事業化に向けた国との調整等の中で、検討、決定されることとなります。 計画段階の検討等に当たっては、県民の皆さまから寄せられた意見も踏まえながら、幅広く検討していくこととなります。
			15	多くの人ができるよう数は多い方が良いとする意見	
			8	駐車場用地の確保が可能な場所への設置を求める意見	
			2	駅数を少なくし、駅間距離が短くなりすぎないように駅設置を求める意見	
			3	全市町村に駅を作ってほしいとする意見	
			1	(市町村会議意見) フィーダー交通の検討は駅位置が非常に重要となる。駅位置の判断は市町村の意見等も踏まえ判断していただきたい	
			18	その他	
		着工・完成時期	28	鉄軌道導入の着工時期、完成時期等が見えない、いつなのかという意見	
			3	基地返還後の整備を求める意見	
		段階的整備	13	中南部地区から整備してほしいとする意見	
			33	段階的にルートを増やしてほしい(例 まずは1本整備して、その後、複数路線整備)	
		財源確保・整備費	11	鉄軌道整備の予算が確保できるのか懸念、心配する意見	
			10	事業費は国に負担してもらいたいとする意見	
			3	事業費を国に頼らないようにすべきとする意見	
			1	財源確保に向けた取組も並行して行うべきとする意見	
			12	整備費用は安価にして欲しいとする意見	
		整備主体	4	その他	
			6	他県は国の予算で国鉄等鉄道インフラが整備されているため、国が整備すべきとする意見	
		車両	1	その他	
			23	豪華列車、イベント・観光列車、個性的な車両等を求める意見	
			5	ペットや自転車も乗せられる車両にしてほしいとする意見	
			9	障がい者や高齢者など利用者にやさしい車両にしてほしいとする意見	
			2	ゆとりのある車両にしてほしいとする意見(観光客がスーツケースを持っていることを考慮)	
			3	将来的に車両を増やせるようにしてほしいとする意見	
		塩害対策について	8	その他	
			3	沖縄は潮風の影響を受けるため、錆による塩害を考慮した車両、システムの整備を求める意見	
		運行計画について	37	各駅、快速、特急など様々な運行(スピード)を求める意見	
			34	運行本数を増やし、深夜の運行など利用しやすいようにしてほしいとする意見	
			5	その他	
		鉄軌道運賃に関する意見	11	料金を示してほしいとする意見	
			72	料金の低減化を求める意見、料金が安ければ利用するとする意見	
			13	その他	
		バリアフリー化	9	交通弱者や観光客が利用しやすいよう駅のバリアフリー化、多言語化を求める意見	
その他	22	SuicaやOKIKAが使えるなど鉄軌道へのICカード導入に関する意見			
	1	(関係機関等意見交換会意見) 交通弱者の視点も踏まえた車両デザインや運営、フィーダー交通への連携等を支援する支援員の配置が必要と考えている			
	1	自然環境の保全・再生については、持続可能性の視点が重要であり、エネルギー利用率、再生エネルギー利用といった視点も鉄軌道計画のなかで検討していただきたい			
	21	その他			

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応		
既存の公共交通の充実等に関する意見	公共交通利用への転換に向けた取組		6	車社会からの脱却、車を利用しないでも生活できる社会となるような取組を求める意見	<p>沖縄県では、過度な自家用車利用から公共交通への転換が重要であると考えていることから、国道58号を中心とする那覇市から沖縄市までの区間に、定時・速達・多頻度で運行する基幹バスシステムの導入を目指しております。</p> <p>このため、ノンステップバスの導入、バス停のグレードアップ、バスレーンの区間延長、IC乗車券システム「OKICA」を本島路線バス4社へ導入するなど、バスの利用環境改善に向けた各種事業を実施しております。</p> <p>また、バスレーン区間延長により、久茂地から伊佐までのバスの所要時間が朝4分、夕方8分短縮するなどの効果が現れているほか、「OKICA」導入により、バスの乗降がスムーズになった、両替や小銭の準備が不要となった等の意見も多く寄せられております。</p> <p>さらに、過度な自家用車利用からの転換に向け、「わったーバス党」を立ち上げ、公共交通利用促進に関する意識啓発活動の実施や、小・中・高生に対して、自動車に過度に依存した生活習慣が根付かないようにするための啓発活動として、「安全・安心」、「CO2削減」、「健康増進」、「渋滞緩和」の観点から、公共交通の必要性について整理されたパンフレットの児童・生徒への配布や、小学校での出前事業の実施等に取り組んでおります。</p> <p>県としましては、今後も関係機関と連携し、公共交通利用促進、公共交通の利用環境改善に向けた取組を精力的に行ってまいります。</p> <p>なお、IC乗車券については</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者の負担するランニングコストが大きいこと ・大幅な利用客数増は見込めない等、費用対効果が小さいこと ・離島住民カードとの連携等、地域独自の展開が制限されること <p>等から、運行事業者によりSuica等との全国相互利用ではなく、県内で独自利用することが判断されたところですが、今後、OKICAの利便性向上に向け、商業施設やコンビニ等でチャージができる環境整備を図っていくこととしております。</p>		
			3	早期の運転免許の返上、都市部への車の乗り入れ制限など自動車の利用を制限、減少させる取り組みを求める意見			
		バスの利便性向上	37	バス停の整備、便数の増、新たな路線の整備等みんなが利用しやすいバス交通を求める意見			
			4	Suica等との互換性やコンビニでのチャージ等OKICAの利便性を高めてほしいとする意見			
			14	鉄軌道よりバスの充実を図ってほしいとする意見			
			1	バスレーンの増設・延長を求める意見			
			1	バスレーンの廃止を求める意見			
	料金		11	バスやモノレールの運賃を安価でリーズナブルなものにして欲しいとする意見			
			5	1日券、学生割、シルバー割やわかりやすい料金設定を求める意見			
			1	無料化を求める意見			
	安全・安心		11	安全安心で事故の無い公共交通を求める意見			
	その他		12	その他(既存の公共交通の充実等)			
	道路整備・まちづくりに関する意見	道路整備		5		公共交通の整備だけでなく自転車が走りやすい、歩行者が歩きやすい道路整備を求める意見	<p>沖縄県は、極めて高い自動車依存型社会が形成され、交通渋滞が日常化しており、交通渋滞の緩和には、道路網の整備に加え、自家用車利用から公共交通への利用転換、過度に自動車に頼らないライフスタイルの促進等が重要であります。</p> <p>そのためには、既存の公共交通の利用環境改善や</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩きやすく安全・安心な歩道の整備 ・バス停から学校等への自転車走行空間整備やバス停周辺の駐輪場整備 ・快適なバス待ち環境の提供 ・公共交通、駅を中心としたまちづくり 等 <p>歩いて暮らせるまちづくりなどの取組が必要と考えております。</p> <p>また、平成24年6月に策定された「沖縄県総合交通体系基本計画」では、人の移動を高めるために必要となるあらゆる交通モードを対象に施策展開するとの考えから、体系的な幹線道路網の整備等も取り組むこととしております。</p> <p>これら取組は、道路管理者や市町村等が連携して行っていく必要があります。</p> <p>また、駅を中心としたまちづくり等について、ステップ4において他事例等を参考に整理・検討を行い、市町村等と情報共有を図ってまいります。</p>
				1		高速道路と駅を結ぶ道路整備を求める意見	
16			公共交通の整備だけでなく既存道路の拡幅・改良・充実、新たな道路整備などを求める意見				
2			電線類地中化の取り組みを強化して欲しいとする意見				
5			その他(道路整備)				
まちづくり			88	駅周辺に駐車場、駐輪場などを整備し、誰もが利用しやすいようにしてほしいとする意見			
			1	(関係機関等意見交換会意見) 駅舎については、バス、タクシー、レンタカーの待機場所について十分なスペースを取っていただきたい。			
			10	魅力的な駅づくりや駅と一体となった再開発(駅周辺への商業施設、ショッピングセンター等の設置等)を求める意見			
			6	駅を中心としたまちづくりや住みよいまちづくりを求める意見			
			3	駐留軍用地跡地を活用した駅整備等、まちづくりを求める意見			
8	その他(まちづくり)						

大分類	中分類	小分類	意見数	意見概要	意見への対応
その他意見	将来の姿の実現に向けて公共交通以外で取り組むべきこと		1	映画館や遊園地など娯楽施設を増やしてほしいとする意見	
			3	滞在等観光メニューの充実、観光客がゆっくり滞在できる設備整備を求める意見	
			2	花や緑を増やして欲しいとする意見	
			3	その他	
	その他行政に対する意見		7	離島の移動コストの低減化、離島の公共交通の充実に関する意見	
			9	その他	
	その他意見		61	賛否のみの意見(理由無しの場合のみにみ)	
		424	その他		

	意見数
検討プロセスに関する意見	224 (1.1%)
対策案に求める・期待する効果に関する意見	1,393 (6.9%)
骨格軸のルート検討に関する意見	16,137 (80.2%)
フィーダー交通の検討に関する意見	265 (1.3%)
想定されるシステムに関する意見	460 (2.3%)
対策案の検討に関するその他意見	877 (4.4%)
既存の公共交通の充実等に関する意見	112 (0.6%)
道路整備・まちづくりに関する意見	145 (0.7%)
その他意見	510 (2.5%)
計	20,123